

地域再生計画（地方創生道整備推進交付金）中間評価調査

都道府県名	山梨県	事業実施主体	山梨県 甲府市 甲斐市	地域再生計画名	「農林・観光」資源を活用した甲府市・甲斐市地域活性化計画
計画期間	令和2年度～令和6年度	評価責任者	山梨県 治山林道課長、耕地課長、甲府市 林政課長、甲斐市 農林振興課長		

①地域再生計画に記載した数値目標の実現状況	指標		基準値		中間目標値		最終目標値		中間評価	達成状況		中間目標値の実現状況に関する評価	
	指標1	指標2	基準年度	年度	年度	中間実績	基準年度	年度		指標総数	達成数		
	甲府市・甲斐市内観光入込客数	甲府市・甲斐市内の主間伐材搬出量	568,750人	H30	569,018人	R4	662,582人	569,421人	R6	○	3	2	中間目標値である569,018人を93,564人上回っており、中間目標値は達成している。引き続き計画に則した整備を図り、計画最終年度における最終目標値の達成を目指していく。
			15,008m3	H30	20,786m3	R4	26,663m3	31,517m3	R6	○			中間目標値である20,786m3を5,877m3上回っており、中間目標値は達成している。引き続き計画に則した整備を図ることで、最終目標値である31,517m3も達成する見込みである。
			89,303人	H30	89,360人	R4	80,688人	89,400人	R6	×			令和2年度から4年度に新型コロナウイルス感染症の影響を受けたため中間目標値を下回っているが、今後はイベントの再開などにより、利用者数は増えていくと予想される。
②事業の進捗状況	事業名			整備量（その他の事業では取組内容）			事業の進捗状況に関する評価						
			計画	中間年度（R4）	最終実績見込み								
特別措置を適用して行う事業	広域農道整備事業（整備延長）		600m	30m	600m	計画行程どおりの進捗となっており、引き続き、計画に則した整備を目指していく。							
	林道整備事業（整備延長）		3,808m	1,452m	3,808m	観音峠大野山線、荒川線、奥仙丈線などの改良事業を実施しているが、当初計画に対し、路線延長から見る進捗率は約38%と遅れが生じているため、今後は更なる事業の進捗を図るため、十分な予算を確保しつつ最終目標値を達成できるよう整備を推進していく。							
その他の事業													
計画外で独自に実施した事業	森林環境保全整備事業（林道）		搬出間伐等の森林施業と一体になった林業専用道の開設を行う			林業専用道の開設を計画的に進めたことにより、林業経営の効率化の推進に寄与した。							
	森林環境保全整備事業（森林整備）		計画的に植栽や間伐等の森林施業を行う			植栽、下刈り、間伐等の森林施業を行うことにより、林業経営の健全化に寄与した。							
	おもてなし森林景観創出事業		森林景観形成・修景施業を行う			観光振興のための良好な自然環境及び景観の保全を図るため、森林景観形成・修景施業を実施した。							
	県単独林道事業（林道）		山岳観光のアクセス道等として林道を改良し、山村地域の振興を図る			林道の改良や安全施設の整備に取組み、山村地域の振興に寄与するとともに、地域住民の通行の安全も確保した。							
③評価方法	中間評価委員会を開催し、中間目標値の実現状況に関する評価・検討等を行った。												
④中間評価の公表方法	山梨県、甲府市、甲斐市のホームページに掲載												
⑤計画全体の総合評価	本地域再生計画では、道整備推進交付金を活用して広域農道整備と林道整備を一体的に行うことにより、地域間のネットワーク網を整備することで、幹線道路等の渋滞を緩和しアクセス時間短縮を図り、観光入込客数、農業施設利用者数や木材搬出量の増加により地域の活性化に寄与することを目的としている。なお、指標3の農業関連施設利用者数の増については、新型コロナウイルス感染症の影響があり、現時点で目標達成の見込みが厳し状況にあるが、今後はイベントの再開等により目標達成に向けて、引き続き地域再生計画の事業展開を図っていくものである。												
⑥今後の方針等	中間評価結果の反映状況						有りの場合その具体的内容						
	地域再生計画の見直し（有・ <b>無</b> ） 令和6年度予算要望額への反映（有・ <b>無</b> ） 有りの場合の増減額 千円												
⑦今後の方針等に対する対応													

## 地域再生計画 中間評価参考資料

都道府県名	山梨県		地域再生計画の名称	「農林・観光」資源を活用した甲斐市・甲府市地域活性化計画				
施行主体	山梨県、甲斐市、甲府市		計画期間	令和2年度～令和6年度				
地域再生計画の概要	<p>本地域は、昇仙峡を中心とした観光をはじめ、地元農産物を販売・加工する農の駅やワイナリー等に、県外から多くの観光客が訪れる。また、森林資源も充実している地域である。しかし、地域内の各観光拠点を結ぶアクセス道の連携が脆弱であり、既存林道施設は老朽化が見られ、通行に支障が生じる恐れがあることから、農道、林道の連携整備を行うことにより、韮崎ICと主要な観光拠点を結ぶルートを確認するとともに、林業拠点から韮崎ICを結ぶ輸送ルートの機能向上を図り、地域産業の競争力強化に資する道路ネットワークを構築する。</p>							
地域再生を図るために 行う事業	<p>韮崎インターチェンジから昇仙峡南部方面へのアクセスを目的として、広域農道線「茅ヶ岳東部線」の開設事業により整備を図る。 また、県営林道「荒川線」、市営林道「野猿谷線」等の改良事業及び県営林道「奥仙丈線」の舗装事業を実施する。これにより、森林施業に必要な林道網の整備を行う。</p> <p>これらにより、甲斐市及び甲府市全体として市道・広域農道・林道と既に整備済みあるいは今後整備予定である高速道路や県道等との連携が図られ、観光地間をつなぐ安全・安心なアクセスルート網が構築される。</p> <p>加えて、運搬ルートの構築により森林施業における効率化と生産コストを抑えることで、林業・木材産業の生産活動を向上させ、林業の振興を図っていく。また、住民の利便性向上や災害時の孤立への不安の払拭も図ることにより、地域産業だけでなく地域全体の活性化に寄与する。</p>							
主な計画道路の 整備状況写真	広域農道 茅ヶ岳東部地区 (着工前) (R4末時点)							
			/		/		/	
主な計画道路の 整備状況写真	県営林道 観音峠大野山線 (着工前) (R4末時点)		県営林道 荒川線 (着工前) (R4末時点)		県営林道 奥仙丈線 (着工前) (R4末時点)			
								